

平成26年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 安田 秀樹

○ 平成26年度重要事業

事業名	診療棟耐震化整備事業の推進
目標	市内の災害医療の中心的施設として、市民の安全・安心を確保するとともに、救急医療体制の強化や外来診療部門等の患者サービスを充実させるため、診療棟の増改築工事を推進します。
進捗状況	診療棟耐震化工事に着手して半年経過しましたが、現在の進捗率は約13%であり、概ね予定どおり進展しています。
今後の対応	冬場に向けて西側出入口に仮設の屋根を設置するなど、患者の利便性と安全確保に努めます。

事業名	地域包括ケア病棟の設置
目標	本年度の診療報酬改定では、病床機能が見直され、在宅医療重視へと大きく方針が変更されています。当院においても改定に沿った医療体制を構築するため、新たに地域包括ケア病棟を設置し、患者さんの在宅復帰を促進していきます。
進捗状況	厚生労働省から地域包括ケア病棟の設置が許可されたので、9月から運用を開始しました。
今後の対応	一般病棟からの受入れや他の急性期病院からの依頼も引き受けることで、当該病棟の病床稼働率を高めていきます。

事業名	地域連携と広報活動の強化
目標	開業医の皆様との連携（病診連携）や病院間での連携（病病連携）をより進め、紹介患者の増加に努めます。 病院の広報については、病院が発行している病院広報やホームページのほか広報いみず等を活用して、積極的に取り組みます。また、出前講座などの院外活動を通じて、市民の健康推進や疾病予防にも力を入れていきます。
進捗状況	開業医からの紹介患者数は、上半期1,540人で前年度比4%増と病診連携は着実に進展しています。また、出前講座については、市民の要望に応えるため27のうち9テーマを見直しました。
今後の対応	引き続き開業医の皆様と病診連携を進める一方で、広報や出前講座等を通して市民の健康管理に貢献していきます。